

国語の全体概要

国語全体の正答率は、国・県の正答率とほぼ同じ結果が得られました。領域ごとでは、「情報の扱い方に関する力」は、県平均を大きく上回りました。「書く力」でやや上回り、「言葉の特徴や使い方に関する力」「話す力・聞く力」「読む力」では県平均とほぼ同じでした。観点ごとでは、「知識・技能」「思考・判断・表現」が県平均とほぼ同じでした。

国語の分析結果と本校の課題について

言葉の特徴や使い方	我が国の言語文化	話すこと・聞くこと	書くこと	読むこと
<p>○文章の種類とその特徴について理解しているかをみる設問は、よくできていました。</p> <p>●日常よく使われる敬語を理解しているかをみる設問に課題が見られました。</p>	<p>※今年度、設問はありませんでした。</p>	<p>○必要なことを質問しながら聞き、話し手が伝えたいことや自分が聞きたいこと、中心を捉えることができるかをみる設問は、おおむねできていました。</p>	<p>●図表やグラフなどを用いて、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫することができるかを見る設問に課題が見られました。</p>	<p>○目的を意識して、中心となる語や文を見つけて要約する設問は、全員ができていました。</p> <p>●文章を読んで理解したことに基づいて、自分の考えをまとめることに課題が見られました。</p>

今後の対応

- ・選択式と短答式問題はできていましたが、記述式問題で書くことに課題が見られました。引用したり、図表やグラフなどを用いたり条件に応じて自分の考えが伝わるように書くことや、理解したことに基づいて、自分の考えをまとめることに課題が見られます。観察や実験、調査の結果などを記述する際には、図やグラフを用いて、自分の考えを伝える活動を取り入れていきます。
- ・相対的に見て、書くことの領域で、課題が見られました。国語の時間だけでなく、社会や総合的な学習などの時間にまとめる活動では、図やグラフを用いて自分の考えが伝わるように書き表し方をくふうさせます。

算数の全体概要

算数全体の正答率は、国・県平均と比べ、大きく上回りました。領域ごとでは、「計算する力」「図形に関する力」「変化と関係を理解する力」が県平均を大きく上回り、「データの活用」で県平均をやや上回りました。観点ごとでは、「知識・技能」「思考・判断・表現」とともに県平均を大きく上回りました。

算数の分析結果と本校の課題について

数と計算	図形	変化と関係	データの活用
<p>○一の位が0の2つの2位数について、乗法の計算をする設問は、全員ができていました。</p> <p>●2位数÷1位数の筆算について、図を基に、各段階の商の意味を考えることに課題が見られました。</p>	<p>○正方形の意味や性質について理解しているかどうかをみる設問は、全員ができていました。</p> <p>●高さが等しい三角形について、底辺と面積の関係を基に面積の大小を判断し、その理由を言葉や数を用いて記述することに課題が見られました。</p>	<p>○伴って変わる2つの数量について、数から変化の特徴を読み取り、表の中の知りたい数を求める設問は、全員ができていました。</p> <p>●百分率で表された割合について理解しているかどうかをみることに課題が見られました。</p>	<p>○「以上」の意味を理解し、示された表から必要な数を読み取る設問は、ほぼできていました。</p> <p>○示された棒グラフと、複数の棒グラフを組み合わせたグラフを読み、見いだした違いを言葉と数を用いて記述することはおおむねできていました。</p>

今後の対応

- ・短答式問題はできていましたが、記述式問題で書くことに課題が見られました。知識として理解していても、日常生活と結び付けて考えたり、求め方を見出し、表現したりすることに課題が見られます。学んだことを日常の事象に絡めた問題に取り組ませたり、数理的に捉えさせる場面を仕組んだりします。
- ・相対的に見て、図形の領域で、図形の構成の仕方を観察して図形について判断することに課題が見られました。図形を構成する要素やそれらの位置関係を基に図形の構成の仕方を捉えさせたり、基本的な図形の面積の求め方から面積の大小を判断して、その理由を表現させたりします。

生活習慣に関する「質問紙（意識）調査」から

【数値が特に高かった項目】

質問番号	調査の項目
1	朝食を毎日食べている割合（100%）
2	毎日、同じくらいの時刻に寝ている割合（100%）
5	先生が、よいところを認めてくれていると思う割合（100%）
6	先生が、授業やテストで間違えたところや、理解していないところについて、分かるまで教えてくれていると思う割合（100%）
7	将来の夢や目標をもっている割合（100%）
8	人が困っているときは、進んで助けている割合（100%）
9	いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思う割合（100%）
10	学校に行くのは楽しいと思う割合（100%）
11	人の役に立つ人間になりたいと思う割合（100%）
14	友達関係に満足している割合（100%）
16	家で、自分で計画を立てて勉強をしている割合（100%）
25	今住んでいる地域の行事に参加している割合（100%）
28	日本やあなたが住んでいる地域のことについて、外国の人にもっと知ってもらいたいと思う割合（100%）
29	学習の中でP.C・タブレットなどのICT機器を使うのは勉強の役に立つと思う割合（100%）
32	自分の考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組み立てなどを工夫して発表していた割合（100%）
33	授業では、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいた割合（100%）
36	話し合う活動を通して、自分の考えを認めたり、広げたりすることができている割合（100%）
37	学習した内容について、分かった点や、よく分からなかった点を見直し、次の学習につなげることができている割合（100%）
54	算数の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思う割合（100%）

【数値が低かった項目】

質問番号	調査の項目
10	困りごとや不安がある時に、先生や学校にいる大人にいつでも相談できる割合（66.7%）
23	新聞を読んでいる割合（33.3%）
57	将来、積極的に英語を使うような生活をしたり職業に就いたりしたいと思う割合（50%）
58	これまで、学校の授業以外で、英語を使う機会があった割合（50%）

〈分析と取り組み〉

【数値が特に高かった項目】

- ・ 1、2の項目からは、朝ごはんの喫食や早起きなどの基本的な生活習慣が身に付いていることが伺えました。
- ・ 5、7、8、9、11、14、25、28の項目から、道徳心が育まれていることが感じられます。また、児童の自己肯定感や自己有用感が高い傾向にあることが伺えました。
- ・ 学校での学習が大切だと考えている児童が多く、積極的に学習に取り組んでいることが伺えました。

【数値が低かった項目】

- ・ 新聞をほとんど読む習慣がないことが分かりました。新聞を学校で配布するなどして「新聞記事を読んで意見を書く」という課題を週末に出し、学習のきっかけ作りをしたり社会の出来事に目を向けさせたりしたいと考えます。
- ・ 57、58の項目から、英語への関心の低さが伺えました。普段、生活の中で英語に接する機会が少ないことが考えられます。ICT機器を使つての外国との異文化交流の場を設定といった、カリキュラムの見直しを図ります。